

株主・投資家の皆様へ

# 株主通信

2011年3月期第2四半期のご報告  
2010年4月1日～2010年9月30日



# TEMP REPORT

テンプホールディングス株式会社  
(証券コード:2181)

本格回復へ、一步前進。  
さらなる飛躍の力を今、育んでいます。

アウトソーシング事業および  
グローバル市場での展開を強化。

企業の業績回復にともない人材需要が増加し、私たちが手がける人材ビジネスも緩やかな回復を見せはじめています。今期第2四半期累計期間の連結決算は、売上高1117億円、経常利益30億円となり、経常利益は当初の予想および前年同期実績を上回ることができました。

この間には、市場ニーズの変化に対応すべく、テンプスタッフ内にアウトソーシング事業本部を新設。活動をスタートしました。また、世界有数の人材サービス会社ケリーサービスの株式を取得。戦略的提携を推進し、特にアジア市場における競争力強化に大きな役割を果たすこととなります。

私たちは、主力の人材派遣ビジネスにおいてさらなるシェア拡大を追求し、一方で、アウ

トソーシング事業とグローバル展開を新たな成長の両翼として育てていくことで、アジアを代表する人材サービス会社を目指していきます。

働く人を守るために――。  
さらなる雇用創造を目指す。

昨今の景気低迷により、多くの求職者へ、継続的な就業機会を提供できないというジレンマがありました。アウトソーシング事業強化の背景には、継続的な就業機会を確保し、幅広い働き方を提供したいという切なる想いがあります。

雇用の創造を通じて、人々の成長を支援し、社会に貢献する―これは私たちの企業理念であり、本業そのものでもあります。今後も人材サービスのさらなる追求を通じて、社会的使命を遂行してまいります。

雇用の創造

企業理念

人々の成長

社会貢献

# 目指します！ 人材サービスの アジア代表



代表取締役社長 篠原 欣子  
1957年三菱重工業退職後、欧州留学を経て、1971年オーストラリアで就業。1973年帰国後、オーストラリアで知った人材派遣からヒントを得て、テンプスタッフ設立。米国・FORTUNE誌「最強の女性50人・国際版」に日本人で唯一、37位にランクイン。2000年より11年連続。

2011年3月期第2四半期  
連結業績(累計)ハイライト

●売上高 1,117億円 前年同期比 0.3% 減

●経常利益 30億円 前年同期比 7.6% 増

●四半期純利益 8億円 前年同期比 4.2% 増

●1株当たり中間配当金 6円

テンプホールディングス  
中期経営戦略

## 地域戦略の強化

各地域事業会社が、地域に根ざしたきめ細かいサービスを提供。各地域におけるシェア拡大を推進します。

## 専門分野への積極展開

専門化する市場に対し、職種や業界に特化したサービス、ネットワークの拡充を図り、ニーズに応えていきます。

## グローバル市場への積極展開

アジアを中心としたグローバルネットワークへ資源を集中し、基盤確立と積極展開を図ります。

## 女性の就業支援

子育てママの就職支援やセミナー・カウンセリングなど、少子高齢化による労働力不足解消のカギを握る女性の就業を全面的に支援します。

## 経営効率の向上

ホールディングス体制による効率化をはじめ、徹底的なコスト削減を実践。堅実な利益成長と健全な財務体質を堅持します。

# 経営陣・リーダーが語ります。 デンプグループの今

# Director's eye

業界を取り巻く環境

環境変化を  
チャンスに。

日本経済の先行きは依然として不透明ではありますが、企業では、ここ数年行ってきた人員縮減の反動から人員不足が生じ、外部人材需要は緩やかに回復してきております。しかし一方で、厚生労働省が今年2月に「26業務適正化プラン」を発表し、派遣法の解釈・適用が厳格化されています。また、人材派遣を活用する企業においてコンプライアンスが重要視されており、複数の人材サービス会社の活用から、信頼性の高い派遣元1〜2社との取引に絞り込む「集約化」が進んでいます。人材サービス業界は今、変化の時代にあります。が、「強み」であるコンプライアンス経営をさらに徹底し、「選ばれたい企業」を目指していきます。



取締役副社長  
日比野 三吉彦  
ひびのみきひこ



取締役副社長  
水田 正道  
みずた まさみち

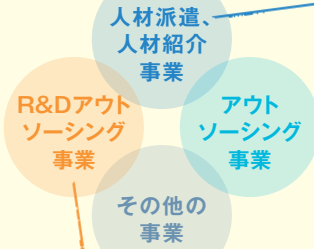
株式会社  
日本テクニード  
代表取締役社長  
森本 一臣  
もりもと かずおみ

セグメント [1]

## 人材派遣、人材紹介事業

適正かつ円滑な運用をサポート。さらなるシェア拡大へ。

派遣会社の集約化を目指す企業が、パートナー選定にあたり重視するのが、人材派遣の「適正かつ円滑な運用」をサポートする能力です。派遣法適用の厳格化により、その要請はさらに高まっています。デンプグループは、営業活動やセミナーなどを通じ、派遣先企業へ適正運用を促す情報提供や、最適な提案を実施。適正運用を確実にリードしています。こうした営業スタイルが評価され、受注件数も回復に向かいました。デンプグループの強みとなる誠実で地道な営業力と企業ニーズへの適応力を活かし、今後も、顧客から頼られ、期待されるパートナー企業を目指します。



マネジメントアプローチの導入により、今期から事業セグメントを再編。「人材派遣、人材紹介事業」「R&Dアウトソーシング事業」「アウトソーシング事業」「その他の事業」の4つを事業セグメントとしています。

セグメント [2]

## R&Dアウトソーシング事業

“共生進化のアウトソーシング”を目指し、顧客満足度を向上。

ものづくりの上流工程において、機械設計開発、電気・電子設計開発、ソフトウェア開発分野で、さまざまな研究開発支援ニーズに対応したサービスを展開しています。昨今、顧客企業である自動車・航空機・ソフトウェア産業において研究開発支援ニーズが回復しはじめており、また、技術革新、開発サイクルの短縮化、開発コスト削減等を背景に、アウトソーシング化が推進されています。派遣から請負へ、常駐型から受託型へと、顧客の開発プロジェクトにおけるベストパートナーとして、“共生進化のアウトソーシング”を戦略に掲げ、製品開発の高度化・効率化をトータルに支援していきます。



常務取締役  
佐分紀夫  
さぶりとしお

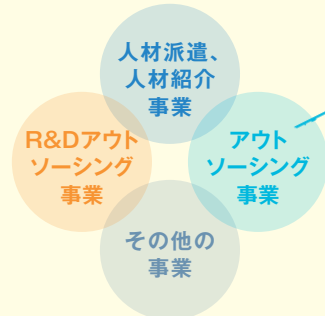


## グローバル戦略、加速中!

注目トピック

成長力豊かなアジア市場で、着実に進む基盤強化。

中期経営戦略に「グローバル市場への積極展開」を掲げる私たちは、5月、世界有数の人材サービス会社・ケリーサービスと戦略的提携を行いました。日本・欧米企業のアジア進出が進むなか、アジア圏をカバーできる人材サービス会社へのニーズが、年々高まっています。今回の提携実現により、アジア地域におけるカバーエリアの拡大、人材供給力の大幅強化、営業機会の増大が期待されます。一方、中国では、蘇州テンプスタッフ・データが管理部門業務の受託を積極的に展開。またテンプスタッフ上海がお仕事検索サイト「360gongzuo.com」を開設するなど、取り組みが活発化しています。今後も、成長力豊かなアジア市場における競争力を一段と高めていきます。



セグメント [3]

## アウトソーシング事業

次なる成長への機軸として、いよいよ本格展開スタート。

- 外部リソース活用の新たな選択肢として、アウトソーシングへのニーズが高まるなか、4月にテンプスタッフ内にアウトソーシング事業本部を設立。本格的な事業展開をスタートしています。5月には、ヘルプデスク業務の企画・運営を手がけるハウコムをM&Aにより子会社化。ハウコムが企画・運営を行い、オペレーター人員はテンプグループ各社が派遣する協働体制を武器に受注を獲得するなど、優れたノウハウを持つハウコムと、供給力豊かなテンプグループのシナジーが発揮されています。さらに、グループ内にとどまらず、専門的なノウハウを有する外部企業との連携により、高度で包括的なサービスを提供していきます。



取締役  
和田孝雄  
わだ たかお

世界の  
人材ビジネス事情

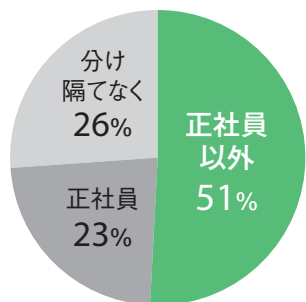
## 好機の時代へ。

世界的に見ても、柔軟性のある雇用への需要は、徐々に増加しています。企業では、スキルの高い人材の不足が再び顕在化しています。一方で、働く人のなかには、子育てや介護などさまざまな理由から、仕事とプライベートのバランスを取りたいと考える人々がいます。企業は労働力確保のために、働く人々は人生目標の達成のために、テンプグループのような人材サービス会社を頼っているのです。私たち人材サービス会社にとって、今後10年が好機の時代となることを確信しています。



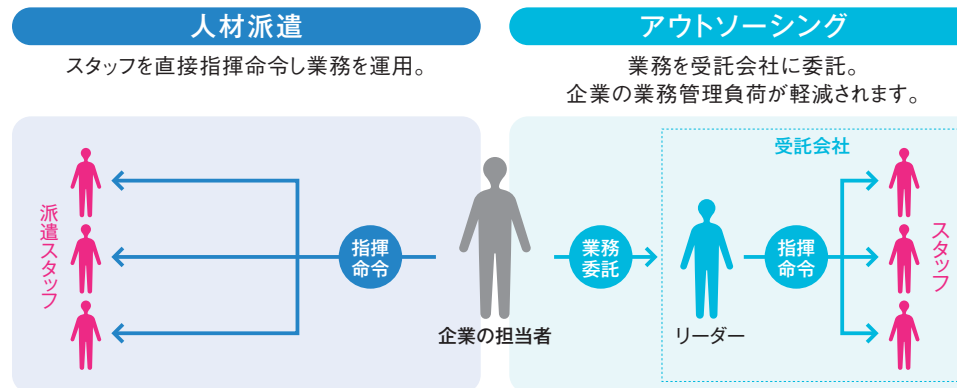
取締役  
カール・カムデン  
カール・ティー・カムデン

景気が回復したときにまずどの労働者を受け入れますか?

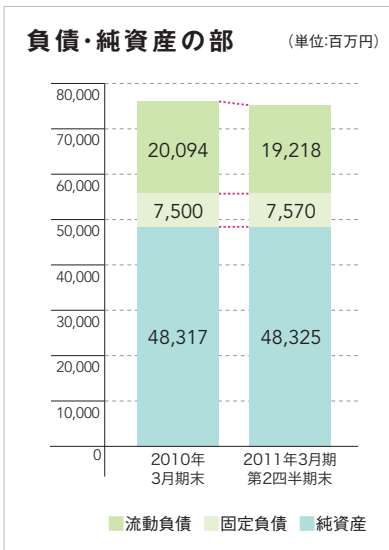
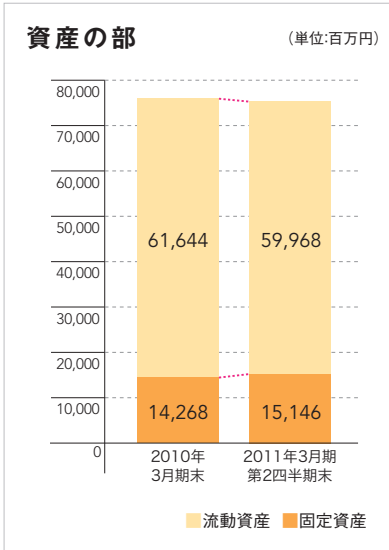


(注)アメリカで1,000人超を雇用する大企業171社を対象  
出典:「人材派遣データブック2010」(社団法人日本人材派遣協会編)

### 人材派遣とアウトソーシングの違い



# 連結決算の概況

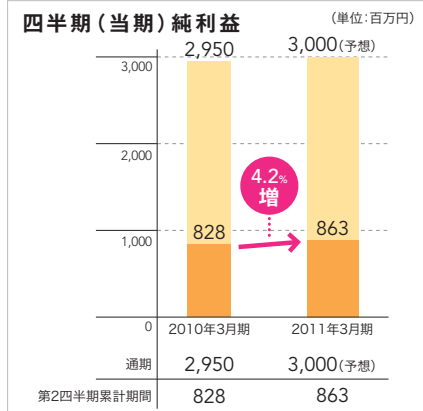
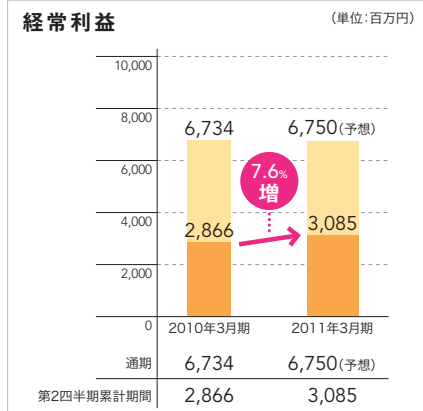
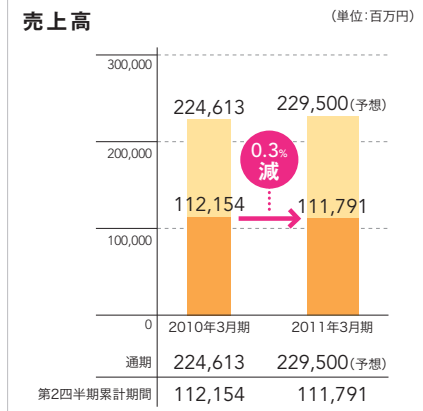


**POINT 1**  
5月、アメリカの人材サービス会社・ケリーサービスの株式を4.8%取得しました。海外において豊富なインフラ、ノウハウを持つケリーサービスと、アジアを中心に事業基盤の確立を図ってきた当社が協力関係を持つことで、中期経営戦略のひとつである「グローバル市場への積極展開」を強力に推進していきます。

**POINT 2**  
財務体質は依然として健全であり、自己資本比率は2010年3月期末の60.4%から61.0%へと0.6ポイント上昇しました。

## 貸借対照表 (単位:百万円)

	2010年3月期末	2011年3月期第2四半期末	増減額
<b>資産</b>	75,912	<b>75,114</b>	△797
流動資産	61,644	<b>59,968</b>	△1,675
現金及び預金	28,545	<b>30,920</b>	2,374
固定資産	14,268	<b>15,146</b>	877
投資有価証券	1,839	<b>3,267</b>	1,427
<b>負債</b>	27,595	<b>26,788</b>	△806
流動負債	20,094	<b>19,218</b>	△876
固定負債	7,500	<b>7,570</b>	70
<b>純資産</b>	48,317	<b>48,325</b>	8
株主資本	45,778	<b>46,294</b>	516
自己株式	△5,636	<b>△5,636</b>	0
評価・換算差額等	46	<b>△445</b>	△492
少数株主持分	2,492	<b>2,476</b>	△15



**POINT 1**  
今後の景気動向に不透明感が残るものの、緩やかな景況感の回復を背景に、低調に推移していた受注に少しずつ改善傾向が見られ、概ね予想通りの実績となりました。

**POINT 2**  
今期重点戦略としてグループのノウハウを結集し、拡販しています。ヘルプデスク業務を中心としたITサポート事業に強みを有するハウコムを5月に子会社化。新しいサービスメニューが加わり、顧客に対する総合提案力を増強しています。

**POINT 3**  
前年度から引き続きコスト削減に取り組み、収益性の改善を図ることができました。前年同期比11.0%の減益を見込んでいましたが、7.6%の増益となりました。

**POINT 4**  
資産除去債務の会計基準の適用により特別損失として569百万円を計上しましたが、前年同期比4.2%増となりました。

### 損益計算書 (単位:百万円)

	2011年3月期第2四半期累計期間	構成比(%)
<b>売上高</b>	<b>111,791</b>	100.0
人材派遣、人材紹介事業	<b>96,686</b>	86.5
オフィスクラーク	<b>32,842</b>	29.4
テクニカルクラーク	<b>40,827</b>	36.5
ITプロフェッショナル	<b>8,627</b>	7.7
営業・販売職	<b>3,589</b>	3.2
その他	<b>9,200</b>	8.3
人材紹介事業	<b>1,598</b>	1.4
R&Dアウトソーシング事業	<b>4,287</b>	3.8
アウトソーシング事業	<b>8,681</b>	7.8
その他の事業	<b>2,135</b>	1.9
<b>経常利益</b>	<b>3,085</b>	経常利益率(%) 2.8
	2,550	
<b>四半期純利益</b>	<b>863</b>	四半期純利益率(%) 0.8
	950	
<b>1株当たり配当金(円)</b>	<b>6.00</b>	配当性向(%) 40.2
	6.00	

今期(2011年3月期)より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」を適用し、セグメント情報を変更しております。また、「人材派遣、人材紹介事業」における職種区分について、求められる技能の細分化および再定義を行い、またその特性に基づき実際の区分・名称を変更いたしました。このため、セグメントにおける前年同期との対比は行っておりません。

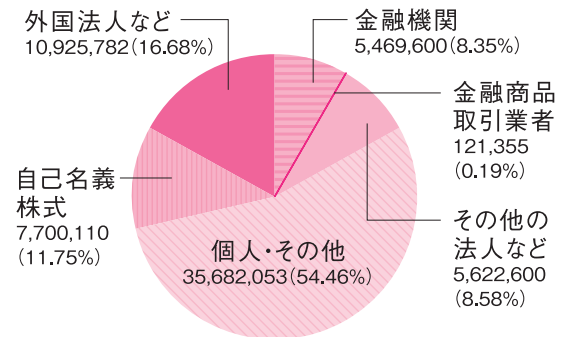
# もっとう、もっとう、 社会貢献。

テンプグループは、人材ビジネスを通じて、CSR（企業の社会的責任）を実践する一方で、さまざまな社会貢献活動に取り組み、一人ひとりが幸せな世の中の実現を目指してまいります。

## インフォメーション

### 株式所有者別分布状況 (2010年9月30日現在)

単位:株



### 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月下旬	
基準日	定時株主総会	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) URL <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>	
	上場証券取引所	
	東京証券取引所(市場第一部)	
	電子公告 公告掲載URL <a href="http://www.temp-holdings.co.jp">http://www.temp-holdings.co.jp</a> (ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。)	

### 株式の状況 (2010年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 240,000,000株
- 発行済株式の総数 65,521,500株
- 株主数 9,617名

#### ●大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
篠原欣子	23,377,200	40.43
ステート ストリート バンク アンドトラストカンパニー	5,255,200	9.08
ケリーサービスジャパン 株式会社	3,000,000	5.18
彌富よしみ	1,812,800	3.13
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,760,000	3.04
日興コーディアル証券 投資事業組合	1,300,000	2.24
テンプホールディングス 従業員持株会	1,274,000	2.20
ウーマンスタッフ有限会社	1,206,000	2.08
山本なな子	1,108,800	1.91
彌富太郎	1,108,800	1.91

※持株比率は、発行済株式総数から自己名義株式を控除した株式数(57,821,390株)を基準に算出しております。

### 会社概要 (2010年9月30日現在)

会社名	テンプホールディングス株式会社 Temp Holdings Co., Ltd.
設立	2008年(平成20年)10月1日
代表者	代表取締役社長 篠原 欣子
本社	東京都渋谷区代々木2-1-1
事業内容	労働者派遣事業・有料職業紹介事業などの事業を行うグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付帯する業務
資本金	2,000百万円

### 役員一覧 (2010年9月30日現在)

代表取締役社長	篠原 欣子
取締役副社長	日比野 三吉彦
取締役副社長	水田 正道
常務取締役	佐分 紀夫
取締役	和田 孝雄
取締役	Carl T. Camden
常勤監査役	平賀 稜威喜
監査役	島田 晴雄
監査役	荒井 薫
監査役	玉越 良介

#### 2010年8月

#### 「東京都がん検診推進サポーター」に認定

テンプグループでは5大がんの検診推進に取り組んでおり、特に乳がん検診を啓発するピンクリボンキャンペーンを積極的に展開してきました。こうした取り組みが評価され「東京都がん検診推進サポーター」に認定されています。これを機にがん検診の重要性をより広く啓発し、女性が生き生きと働ける社会の実現に貢献していきます。

#### 女性支援



#### 成長支援

#### 2010年5月

#### 「第20回テンプグループ・ユースインターナショナル・スカラシップ」募集

テンプグループでは、18歳以上の学生を対象とした海外留学奨学生制度を毎年実施しています。今後もこの制度を通じてグローバルに活躍できる人材育成をサポートしていきます。

#### 2010年7月

#### スキルアップ情報サイト「まなびカンパネラ」リニューアル!

派遣スタッフの成長を応援するスキルアップ情報サイト「まなびカンパネラ」をフルリニューアル。キャラクター「働きバチのまなBEE」も登場して、オシゴトに役立つ情報を楽しくお伝えしていきます。

#### 障がい者アスリートをバックアップしています

テンプグループでは、障がいのある社員のスポーツ活動を就業面と資金面の両面からサポートしています。今期もその支援がさまざまな形で実を結んでいます。

#### 障がい者支援

#### 2010年4月 初瀬勇輔(視覚障がい) 「佐世保市文化スポーツ特別賞」 3年連続受賞

サンクステンプ所属・初瀬勇輔は、2008年 北京パラリンピック障がい者柔道および、2010年 第4回IBSA柔道世界選手権トルコ大会に出場。その功績が評価され、出身地の佐世保市より受賞しました。

#### 2010年8月 木村雄哉(知的障がい) 「ジャパンパラリンピック陸上競技大会」 で大会新記録

サンクステンプ所属・木村雄哉は、2009年にIDフルマラソンの世界新記録を樹立するなど、数々の受賞歴を持ちます。今年のジャパンパラリンピックでは1,500m走に出場。大会新記録(4'07"23)で銀メダルに輝きました。



テンプホールディングスと特例子会社のサンクステンプは「障害者雇用優良企業認証マーク(ハートフル・リボン・マーク)」の取得企業です。

## 株式に関するお手続きについて

### ■ 証券会社などの口座に記録された株式

お手続き、ご照会などの内容	お問合せ先	
<input type="radio"/> 郵送物などの発送と返戻に関するご照会 <input type="radio"/> 支払期間経過後の配当金に関するご照会 <input type="radio"/> 株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
<input type="radio"/> 上記以外のお手続き、ご照会など	口座を開設されている証券会社などにお問合せください。	

### ■ 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会などの内容	お問合せ先	
<input type="radio"/> 特別口座から一般口座への振替請求 <input type="radio"/> 住所・氏名などのご変更 <input type="radio"/> 特別口座の残高照会 <input type="radio"/> 配当金の受領方法の指定(*)	特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
<input type="radio"/> 郵送物などの発送と返戻に関するご照会 <input type="radio"/> 支払期間経過後の配当金に関するご照会 <input type="radio"/> 株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	<div style="text-align: center;">[手続き書類のご請求方法]</div> <input type="radio"/> 音声自動応答電話によるご請求 ▶ 0120-244-479 (通話料無料) <input type="radio"/> インターネットによるダウンロード ▶ <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

(\*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。